

「授業で使える衛星データ：無償ソフトで作るリモセン画像」

社会科教員のための環境リモートセンシング・

ワークショップの開催

国土館大学地理・環境専攻では、7月27（火）、28（水）の二日間にわたり、社会科教員を対象として標記のワークショップを開催します。

一万シーンにも及ぶランドサットデータが無償で利用できる。少し前ならホント？と疑うような話だ。

これまで私たちは「GISやリモセンは、金がないと何もできないんじゃないか」と思いがちだった。リモセンに関していえば、衛星データは高価で購入手続きが面倒くさく、解析ソフトは安くても数十万円程度はする。リモセンデータを自分のPCでいじることなど、資金の面で初めから無理だとあきらめている人も多い。

ところが、このところ少し様子が変わってきた。GISに関しては、[GIS NEXT誌](#)の「GIS壱萬円の旅」で紹介されるような状況になっているし、リモセンデータに関してもブロードバンド（高速・大容量通信）の普及で、無償で公開されている大量の衛星データがいとも簡単にダウンロードできるようになった。ビューアという画像表示ソフトも、自社の解析ソフトの普及をもくろむメーカーが、比較的まともな製品を無償で提供しており、インターネットでダウンロードできる。また、フリーの優れた解析用ソフトも登場するようになった。PCで合成画像を作ったり、教材を作るというのが目的なら今や「リモセン無銭旅行」が世界中で可能である。

記

1：テーマと趣旨

（テーマ） 授業で使える衛星データ：無償ソフトで作るリモセン画像。

（趣旨） 大学の研究成果や教育の成果を、社会・教育界へ還元する。

2：内容

1）：環境リモートセンシングに関する初級～中級程度の講義と実習。

2）：衛星データの取扱、画像処理に関する講義と実習（PCは1人1台）。

3）：地理教科書に準拠した、授業で使える教材・ソフトの紹介。

3：対象者・条件

高校の「地理」担当教員、中学の「社会」担当教員など約20名程度。先着順で受け付けます。

PCスキル：Windowsの基本的な操作（ワープロ程度）ができること。

4：開催日時

2004（平成16）年7月27日（火）～28日（水）の二日間。

午前10時～午後 5時30分

5：場所

世田谷キャンパス情報科学センター、第2 端末室

6：担当者・補助者

文学部地理・環境専攻 教授 長谷川 均

大学院生数名をTA（ティーチング・アシスタント）とする。

7：参加費（教材費などの実費のみ）

2,500円（当日徴収）

8：ワークショッププログラム はこの文書の最終ページをご覧ください。

9：参考書：長谷川均著「リモートセンシングデータ解析の基礎」、古今書院刊（¥3,500）。かなら

ずしも必要ありませんが、図書館などで事前にお読みいただければ理解が早いと思います。

10：申込み方法、締切

下記へメールまたはFAXで申し込んでください。申込書の記載事項にもれの無いようにしてください。

申込先：〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

国士舘大学文学部地理学教室 長谷川 均

FAX 03-5481-5247、E-mail：hasegawa@kokushikan.ac.jp

締切：2004年7月15日

「授業で使える衛星データ：無償ソフトで作るリモセン画像」 社会科教員のための環境リモートセンシング・ワークショップ プログラム

参加希望からの要望に応じて、内容、レベルを調整いたします。

第一日目 2004年 7月27日（火）

| 時間 | スケジュール | 担当 |
|-------------|--|----------|
| 09:30-10:00 | 受付開始 | TA |
| 10:00-10:30 | 開催の挨拶、趣旨とプログラムの説明 | 長谷川、TA |
| 10:30-12:00 | リモートセンシングの歴史と利用分野 Webでみるリモートセンシング利用例の検索 | |
| 昼食 | | |
| 13:00-14:30 | RSで使うセンサーの種類、分光反射特性について 単バンド画像の性質と判読とカラー合成画像の原理 | |
| 休憩 | | |
| 14:40-16:10 | 教材としてのRSデータや数値地図の使い方 | |
| 休憩 | | |
| 16:20-17:30 | 無償データの入手方法、無償ソフトの入手方法 | |
| 17:40-19:00 | レセプション（学生ホール） | 専攻全教員、TA |
| | | |

第二日目 2004年 7月28日（水）

| 時間 | スケジュール | 担当 |
|-------------|-----------------------------|--------|
| 10:00-12:00 | 衛星画像のデジタル処理：データの切り出し | 長谷川、TA |
| 昼食 | | |
| 13:00-14:30 | 衛星画像のデジタル処理：経年変化を抽出する簡単な方法 | |
| 休憩 | | |
| 14:40-16:10 | 衛星画像のデジタル処理：土地被覆図をRSデータから作る | |
| 休憩 | | |
| 16:20-17:30 | 衛星画像のデジタル処理：分類結果を主題図としてまとめる | |
| | 希望者による懇親会 | |

使用するソフトは、リモートセンシング解析ソフトとしてパデュー大学が開発したフリーソフト「Mult iSpec」、カシミール3D、AdobePhotoshopElements2などを予定しています。また、データは、メリーランド大学のアーカイブよりダウンロードした世界各地のデータを使用します。

参加申込書

(Eメールの場合は、必要事項のみ記入してお送りください。FAXの場合は本用紙を適宜コピーしてお送りください)。

「授業で使える衛星データ：無償ソフトで作るリモセン画像」 社会科教員のための環境リモートセンシング・ワークショップ 参加申込書

| | |
|---|---|
| 氏名、生年 読みにくい漢字には ふりがなを | 19 年生 |
| 勤務先・担当科目 | 勤務先 担当科目 |
| 連絡先(〒、住所、 電話、FAX、E-mailなど) 最終案内の送付先、 緊急連絡先などをお 書きください | |
| 土地被覆図を作成実習の際、希望する地域がありましたらご記入ください。 | 希望する地域がある場合、地形図など土地利用状況のわかる資料をご持参いただくと作業効率が高まると思います。 |
| 取り上げてほしいテーマなど、ご希望がありましたらお書きください(ご希望に添えない場合もごさいます)。 | このワークショップの開催を何で知りましたか？ 1：ホームページ 2：地理学評論 3：雑誌 地理 4：雑誌 地理教育 5：クチコミ 6：ダイレクトメール 7：その他 |

送り先：〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1 国士舘大学文学部地理学教室 長谷川 均
FAX 03-5481-5247 、E-mail: hasegawa@kokushikan.ac.jp